☆米公演成功を世界への礎に☆

○…「ロサンゼルスなどの公演も好評。ラスベガス市が主催したアーティストの発表の場となるイベントへの出場やテレビ出演を果たし、徐々に浸透している」と語るのは、番組・イベン、マス さん。

○…な は、同社 マジック

成功する経営者のための

人事労務管理講座

■4■

経営者が作る新就業規則（上）

重要ツールと「気づき」を

近年、会社経営における就業規則の重要性が非常に高まっています。もし、会社に就業規則がなかったり、あるいはメンテナンス・運用（社員への周知）がなされていなかったとすれば、会社経営は危ういといっても過言ではありません。なぜなら、そのような場合には、社員の懲戒もできませんし、さまざまな労使トラブルを招いてしまうことになるからです。

また、運 悪く労使紛 争にでも発 展すれば、経営者には勝ち目がないでしょう。私が社会保険労務士だから、大袈裟に言っている訳ではありません。

確かに、就業規則によって経営リスクを予防する、またはトラブルが起こってしまった場合の損害やコストを最小限に抑える。といったことも就業規則に期待されることだと思います。

しかし、就業規則の本質というものは、経営者と社員が一致団結して経営目標を達成し、経営理念を実現していくために作成するものであると考えます。

このように考えれば、経営者のリーダーシップのもとに就業規則を作成することは、会社側にとっても、社員側にとても大変意義があります。経営者が就業規則について、このような「気づき」をもっていただければ、必ず会社は繁栄するものと確信いたします。

ここでもう一度、就業規則について、その考え方と作成意義をお伝えいたします。

（1）就業規則の本質とは

労使双方が一致団結して、経営目標や経営理念を達成するための経営ツール（共通の考え方と行動指針）となる

（2）就業規則の作成意義

【会社側の意義】

①労働条件を統一的に定めることによって、効率的な事業運営ができる

②経営上のリスクを予防できる

③人事労務トラブルが発生した場合の解決根拠となる

④社員に経営理念や経営目標を達成するための行動を促すことができる

⑤経営者と社員の信頼関係を構築できる

【社員側の意義】

①社員が安心して働くことができる

②社員同士が職場規律やルールを守ることで、気持ちよく働くことができる

私は占い師ではありませんが、今では会社のことを知らなくても、その会社の就業規則を見ただけで、経営者と社員の信頼関係度や継続して利益を出せる会社かどうかが、予測できるようになりました。就業規則は、経営の状態を表す、大変奥が深いものといえます。

目的は労使共通の行動指針

次回（下）では、就業規則を経営ツールと捉え、成功している経営者が考えた就業規則の一部をご紹介します。

【デライトコンサルティング代表社員　近藤圭伸】